



けやきっ子



六栄小学校だより 第19号 令和7年9月19日(金) 文責：久保田 真二

学校ホームページ
もご覧ください

前期終了まで1か月足らず・落ち着いた生活を

9月も半ばを過ぎましたが、まだまだ暑い日が続いています。しかし、時間は確実に過ぎてゆき、前期終了まで残り1か月足らずとなりました。最近の学校や子どもたちの様子についてお知らせします。

最近の子どもたちの落ち着きのなさや気の緩みを少し心配しています。例えば、靴箱の靴がきれいに並んでいなかったり、休み時間を過ぎても遊んでいる子どもがいたり、体調がすぐれないなどの理由で保健室に何時間も滞在したり、授業に集中して取り組めなかったりなどです。学校では、指導はしていますが、なかなか改善されないこともあります。

さて、落ち着きのなさや気の緩みの原因は何かを考えてみました。エネルギーの発散が上手くできていないこと、基本的な生活習慣が定着していないことではないかと考えます。日中の暑さが厳しいために、子どもたちは外で元気に遊ぶことが制限されています。本当は思い切り遊ばせたいのですが、この暑さの中ではそうはいきません。また、朝から欠伸をして登校してくる子ども、眠たそうな顔をして登校してくる子ども、遅刻してくる子どもたちを見ます。このような状態では、落ち着きのなさや気の緩みは解消できないと思います。

そこで、子どもたちが、元気に学校生活が送れますようお願いがあります。まずは、子どもたちが「早寝早起き朝ごはん」の基本的な生活習慣を定着させられるように各家庭でもご指導とご支援をお願いします。また、朝から子どもさんの体調がすぐれないようであれば、無理をさせずに療養したり、病院受診をしたりをお願いします。

お願いばかりで申し訳ありませんが、学校と家庭と連携して子どもたちの成長を支えていきましょう。また、子どもさんの家庭での様子について気になることがあれば遠慮されずに学校へご連絡ください。



脱ぎっぱなしの靴、上靴、虫籠のふた、石が散らかったままの児童の下駄箱

4年生・点字について学習しました！



9月10日(水)・12日(金)に、和水町在住の石原様にゲストティーチャーとして来校していただき「点字」の学習をしました。石原様から、目の見えない人の暮らしや「点字」について話を聞いた後、実際に点字体験をしました。実際に点字で自分の名前を書きました。障害について考える素晴らしい学習になりました。

子どもたちの尊い命を守るために！

ニュースなどでご存知だと思いますが、先週の3連休の最終日に、県内の一人の中学生が水難事故に遭い、尊い命が失われる痛ましい事故が起きました。このような事故が二度と起こらないように、また、本校の児童が水難事故に遭わないためにも、保護者の皆様にも次の点につきましてご理解とご協力をお願いします。

- 子どもだけで、川や海、池、用水路などには行かせないでください。
- 子どもが地域でどのような遊びをしているのか、保護者がしっかり把握しておいてください。
- 危険な行為、人に迷惑をかけるような行為をしていたら、見逃さず注意・指導をしてください。

子どもたちの尊い命をまもるためにも、ご理解とご協力をお願いします。

ところで、来週9月22日(月)は、本校で長洲町の幼稚園、保育園、小学校、中学校の先生方が集まって研修会があります。2年生、3年生、6年生は研究授業のために残りますが、その他の学年は13時には下校になります。土日の連休、午前中授業、祝日と休みが続きますが、交通事故などにも注意して過ごすよう声掛けをお願いします。

